

上野ファーム

自然のハーモニーの育成

「上野ファーム」の庭は野生であり、同時に北海道と西洋を反映させるように慎重に調整されています。「パープルウォーク」、「白樺の小道」、「サークルボーダー」、「ミラーボーダー」などの区域は、英国カントリーガーデンスタイルで仕上げられています。

上野ファームは、1906 年、稲作のため始めた家族経営の企業です。それから現在の経営者である上野砂由紀さんは 2000 年代にイギリスに渡り、ガーデニングを学びました。帰国後、上野さんは自分なりのイングリッシュガーデンをつくり始めました。ファームでコメを買いに来る地域住民の憩いの場を作りたかったのです。多年生の花々を北海道の厳しい環境で育てることに成功し、ガーデンの評判は地域社会を超えて広がりました。上野さんは、北海道ガーデン街道のガーデンの一つとなる「風のガーデン」の設計も行いました。

牛小屋はリノベーションされ、ガーデンの入り口とショップになりました。高くそびえる天井と大きな戸のある倉庫代わりの納屋は、今や Naya Café になっています。くつろいだり思いをはせたりできるよう、やわらかいが頑丈なテーブルと椅子、ベンチがカフェ屋外にあります。

ファームの高い丘である射的山からは旭川地方の 360 度パノラマビューが見えます。草の茂った丘の上からはあらゆる方法に水田が広がっています。上野ファームは 4 月下旬から 10 月中旬までの間、月曜以外毎日、日中にオープンしています。